

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和８年度宮古市歯科保健推進連絡協議会を次のとおり開催しました。

令和８年８月１２日

宮古市歯科保健推進連絡協議会

- 1 開催日時
令和８年７月２９日（水） 午後７時００分～午後８時００分
- 2 開催場所
宮古保健センター１階大会議室
- 3 議題
（１）会長及び副会長の選任について
（２）令和７年度歯科保健事業実施状況について
（３）令和８年度歯科保健事業計画について
（４）その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
宮古市新里保健センター
電話 ０１９３－７２－３５００

令和8年度宮古市歯科保健推進連絡協議会 開催結果

1 出席者（15名）

昆亜紀夫、川原田隆司、松橋精二郎、湊谷寿邦、佐々木達也、中村胡桃、
宇洞喜房、熊谷琴美、小菅光恵、日野充、中島和孝、高島健太、宮本淳一郎、
山本久代、木村美紀子

2 欠席者

なし

3 事務局等出席者（13名）

副市長 多田康、保健福祉部長 金澤建司、福祉課長 関口憲史、
こども家庭センター所長 若江奈津子、介護保険課長 石垣達也、
健康課長 大越公、保健担当課長 佐々木直美、診療所統括事務長 中野剛久、
田老保健センター所長 小林洋恵、新里保健センター所長 北舘里美、
母子保健係長 大向直子、主任保健師 佐々木里穂、主任歯科衛生士 狩野愛

4 傍聴者

なし

5 議事等

（1）会長及び副会長の選任について

事務局案として会長に昆亜紀夫委員、副会長に川原田隆司委員を提案。
提案のとおり承認された。

（2）令和7年度歯科保健事業実施状況について

事務局及び各委員から説明し、承認された。
質疑等は別紙のとおり。

（3）令和8年度歯科保健事業計画について

事務局及び各委員から説明し、承認された。
質疑等は別紙のとおり。

（4）その他

なし

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議事（２）令和７年度歯科保健事業実施状況について】 （副市長） 12歳のう歯有病者率などが岩手県や全国と比べ宮古市は高い状況になっている。以前から指摘されていたことではあるが、改めて市の現状や特徴、これから力を入れて取り組むべき点などご助言いただきたい。 （副市長） 震災以降、沿岸の子供たちの肥満率が高いという指摘が各方面からあるが、おやつの食べ方や日常生活の過ごし方など、むし歯との関係について統計などから気付くことはあるか。	（会長） 市では幼児期から歯科健診や口腔ケア、栄養指導など継続的に取り組んできてはいるが、小学生になるとある程度むし歯は増えてきてしまう。現在、小中学校ではフッ化物洗口や学校歯科医によるブラッシング指導等を行っているが、それだけでは追いつかない現状であるため、学校・家庭での指導も必要になってくる。毎日の歯ブラシの徹底、食事等についても考えていかなければならない。 （委員） 沿岸において学校統合が非常に進んでいる。そのため、スクールバスというのが宮古市や近隣市町村でも欠かせないものとなっている。盛岡市周辺や首都圏の子供たちの歩く距離数に比べ、沿岸部の子供たちが歩く距離数は少ないことが分かっている。また、子供たちの生活習慣について、自宅に帰ると誰もおらず好きなものを食べ、管理されなくなっている。こういった現状が肥満率の高さに影響しているのではないかと思う。 さらに、小学生になると保護者は本人に歯みがきを任せるようになる。学校や教育委員会として、中学年や高学年になっても仕上げ磨きをしてくださいと呼びかけていかないといけないと思っている。 （副会長） 運動量の少なさ、孤食、祖父母のおやつの与え方などが肥満率を高めているように思う。運動指導や食事指導に尽きる。

(副会長) 宮古市の12歳う歯有病者率は岩手県より10%ほど割合が高い。しかし、17歳になると岩手県と割合がほとんど変わらなくなってきている。岩手県と同程度の割合に近づいたのには何か理由があるか。 【議事(3) 令和8年度歯科保健事業計画について】 (委員) 仕事柄学校に出向くことがあるが、休憩時間などに歯磨きをしている子供たちを見ると、今の子供たちはすごいと思う。昭和の時代にもそういった取り組みがあれば良かったなと思う。今後も引き続き、皆さんには取り組みを続けてほしいと思います。 (委員) 保育士として0,1,2歳児を担当しているが、歯磨きなどの口腔ケア対応が難しいと思っている。普段は給食後にお茶を飲ませる程度にとどまっているが、何か0,1,2歳児に対してできる口腔ケアがあれば教えていただきたい。	(委員) その理由については分かりかねるが、宮古市の17歳う歯有病者率が令和4年度から年々改善されてきているのは、宮古市の医療費無償化が高校生までに拡充されたことが理由の一つに挙げられると思われる。高校では「卒業すると医療費は無料じゃなくなるから、いまのうちに受診しておくように」と指導するようにしている。そのため、歯科医院への受診率も上がり、通院する生徒が増えたことが改善につながったのではないかとと思われる。 (委員) 保育所における0,1,2歳児への口腔ケアは難しいところがあるが、寝たきりの高齢者で歯磨きが難しい場合などは、口腔用のウェットティッシュで汚れ等を拭うなどのケアを行う場合がある。市の在宅要介護者等への訪問歯科健診等事業でも物品の一つとして使用している。汚れを拭うといった対応も取り入れてみると良いのかもしれない。
---	---